

鉄道の利用促進と魅力発信に期待

◎鬼列車出発式

7月4日、鬼をテーマとしたラッピング列車（鬼列車）の出発式が近永駅で行われました。

鬼列車には、町のモニュメントである鬼王丸の大きく見開いた目や鋭い歯がむき出しとなった口元などが大迫力で描かれています。この取り組みには、鬼のまちづくりを応援しようと寄附をされたふるさと納税を活用。南予地域の魅力発信と予土線を中心とした鉄道利用の促進を図ろうと、鬼北町とJR四国が運行を開始しました。

式には、予土線圏域の市長、町長ら13人が出席。兵頭町長とJR四国の長戸正二常務取締役鉄道事業本部長が挨拶し、鬼列車の今後の活躍を期待しました。

式後には、式の出席者や北宇和高校の生徒ら約20人が乗車し、稲澤実駅長と鬼王丸の合図により、宇和島駅に向かって出発しました。

鬼列車は、普通列車として、予土線の宇和島－窪川間と、予讃線の松山－宇和島間を約2年間運行する予定です。



▲出発前に行われたテープカット



▲営業運行となり窪川へ向かう鬼列車

鬼列車で楽しむ鬼王丸AR

車内では、スマートフォンアプリを利用してAR（拡張現実）を楽しめます。

また、駅または車内で配布している専用チラシを使って、いつでもどこでも鬼王丸を召喚できます。

■鬼王丸の観光ガイド

対象区間 大内駅～松丸駅

鬼王丸が鬼北町エリアのおすすめ観光スポットをご紹介します！

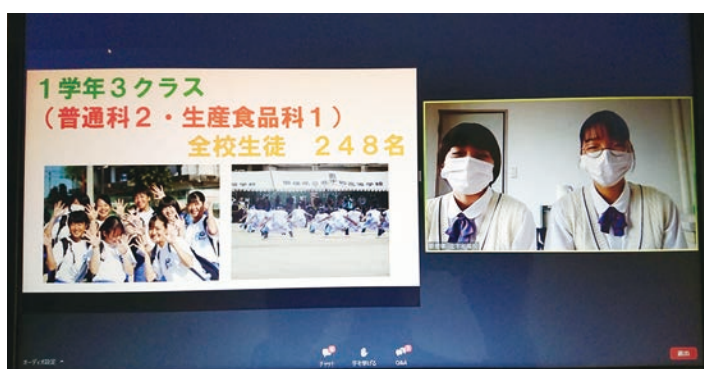
■鬼王丸車掌・みきゃん車掌と記念撮影

対象区間 宇和島駅～窪川駅

鬼王丸とみきゃんが車掌姿で出現！一緒に記念撮影をしましょう！

北宇和高校の魅力を全国にPR

◎地域みらい留学 学校説明会



6月5日、6日、地域みらい留学のオンライン合同学校説明会が開催され、北宇和高校の生徒が全国の学生へ北宇和高校の魅力をアピールしました。

地域みらい留学とは、都道府県の枠組みを越えて、地域の学校に入学し、充実した学校生活を送る制度のこと。入学者数の減少が課題となっている北宇和高校は、令和2年度から生徒の全国募集を開始し、今年度からは、町の支援を受け、地域みらい留学に参画しています。

6月5日、6日の説明会には、全国から70校が参加。北宇和高校3年生の生徒3名は、プレゼンテーションなどを通して、地域の魅力や学校の特色を分かりやすく伝えていました。